



こども発達支援室だより

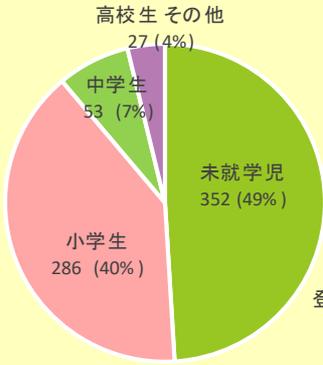


こども発達支援室では、こどもの理解を深め、発達や育ちを支える環境づくりに努めています。

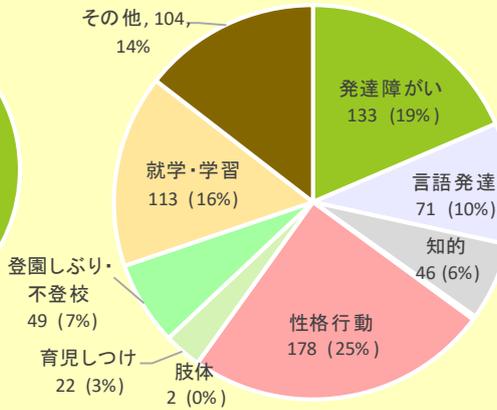
今回のたよりでは、こども発達支援室の相談状況、パーソナルファイル、ほめ方のコツなどをご紹介します。

☆令和3年度の相談状況☆

年齢内訳 (R3年度)



相談種別 (R3年度)



○お子さんの年齢層

就学前の幼児が約5割、小中学生が約4割となっています。前年度と比べ、高校生の相談件数が6件から27件と増加しています。

○相談内容

お子さんの発達に関することで、日常生活での対応方法、学習、対人関係等多岐にわたります。

☆パーソナルファイルを活用しよう☆

○パーソナルファイルって？

発達をはじめとする支援の必要なお子さんが、安心して一貫した継続支援が受けられるよう、お子さんの状態や支援の情報をスムーズに引継ぐための情報をまとめたファイル。

○いつ活用するといいの？

進学など新しい環境に変わる、福祉サービスや新たに相談を受ける時など、子どもの状態を知ってもらう必要がある時に活用します。情報が引き継がれ、安心して支援を受けられることにつながります。



配布場所

こども発達支援室、健康課、高齢・障がい福祉課、子育て応援課、学校教育課

※パーソナルカルテ(旧式)をお使いの方は、そのままご利用頂けます。

ほめ名人になろう！

こどもは大人からの肯定的な注目(ほめる)を求めています。「ほめる—ほめられる」関係が、子どもと良い関係を築く原点です。子どもの行動をよく観察し、いまあたり前に出来ている行動から、ほめる行動を見つけいきましょう。

Point ▶ ほめ方のコツ

- ①タイミング : 子どもの良い行動が始まったらすぐに
- ②視線・からだ : 子どもの目を見て、子どもが見返すのを待って、近づいて
- ③表情 : 明るい表情で
- ④声の調子 : 温かみのある声、穏やかな声で
- ⑤言葉 : メッセージは短く、皮肉は避ける
- ⑥行動をほめる : 出来ている行動を具体的に示してほめる
- ⑦効果的にほめる : 子どもの性格や感じ方、年齢に応じたほめ方



☆言葉でほめる以外にも、ほほえむ、励ます、感謝の気持ちを伝える等も肯定的な注目となります。

☆今回のほめ方のコツは、ペアレント・トレーニング^{※1}を参考にしています。

※1 ペアレント・トレーニング…「子どもの行動観察」、「肯定的な注目」をベースとし、保護者が子どもとのより良い関わり方を学んでいくプログラム。

お問い合わせ・相談: 伊勢市こども発達支援室 (八日市場町 13-1 福祉健康センター3階)

TEL: 63-5444 FAX: 27-0058

Email: kodomohattatsu@city.ise.mie.jp

